

Apply now
www.stadslab.eu

Deadline: 16th March 2012

MASTERCLASS

Fukuoka is re-positioning itself for the global economy of the 21st century. And Fukuoka needs input from designers.



Master Class Program Fukuoka 2011-2013

欧州都市デザイン研究所（以下、Stadslab）と福岡地域戦略推進協議会（以下、FDC）は、2012年4月に「国際実務研修」を福岡で開催いたします。福岡の将来を一緒に描く都市開発の実務専門家（建築家・プランナー・都市デザイナー・ランドスケープアーキテクト等）の参加を幅広く募集します。

- 「国際実務研修」は10日間に渡るシャレット形式のワークショップです。現地福岡で、地元の建築家や関係者、そして他の実務専門家とのコミュニケーションを通じ、国際的な専門家の指導のもとでワークショップは進められます。
- この研修の成果は、今後、FDCが推進する地域戦略のうち、都市再生に関連するプロジェクトの検討土台となります。



Fukuoka - The Asian Capital of Architecture

福岡は、2時間圏にソウル、上海、東京といった大都市圏を抱え、都心部からわずか数分でアクセス可能な日本有数の港湾と空港を擁しており、東アジアの中心になりえる地理的な優位性を持っています。また、市街地はコンパクトで、自然が近く、その生活の質の高さは、世界的に高く評価されています。

- アクセシビリティの高さ：博多駅からは約10分毎に新幹線が発着し、日本全国に容易にアクセスできる
- ユニークな建築物：キャナルシティ（複合商業施設）、アクロス福岡（オフィスビル）、イル・パラッツォ（ホテル）等
- 多彩な商業集積：トップブランドの旗艦店やブティックが集積する「天神」と福岡の新拠点「博多駅」
- アジアとの近さ：博多港と韓国釜山を結ぶ直通フェリー
- 多様な地域文化：地方色豊かな祭り、素晴らしい日本酒、新鮮な海の幸をはじめとした食文化

夜には屋台が街路に賑わいを生み出し、アジアらしさを感じることができます。福岡は、“日本でもっともアジア的な街” と言えるでしょう。福岡にはまた、多くの著名建築家の作品が残されています（レム・コールハース、マイケル・グレイブス、ジョン・ジャーディ、シーザー・ペリ、黒川紀章、エミリオ・アンバーツ、磯崎新、マーク・マック、クリスチャン・ド・ポルザンパルク、ピーター・アイゼンマン、アルド・ロッシ他）

Strengthening Fukuoka?

福岡は、今、都市内のいくつかの拠点をより魅力的な場所につくりかえようとしています。博多湾に面するウォーターフロントは大きな可能性を持ちながらも、有効活用されている状態とは言えません。コンパクトで歩いて楽しむことのできる都心部も、大きな可能性を秘めています。

バンクーバーやシンガポール、ハンブルク、アムステルダムといった街を訪れ、世界最先端の事例から魅力的な場作りが都市を再生することを肌で感じました。そして、福岡は、今、刺激的で活気にみちた街へと、そして持続可能な都市デザインのモデルケースとして、新たな一歩を踏み出そうとしているのです。



Theme - Placemaking for the 21st Century

このシャレット形式のワークショップでは、プレイスメイキングに焦点を当てます。自治体財政が厳しくなり、不動産市場が落ち込んでいる今、公共あるいは民間の投資を呼び込むために何をすべきか見出したいと思います。

- 成功している企業、旅行者や居住者を引きつける魅力を都市に与えるためには、何が必要なのか
- クリエイティブで優れたビジネスパーソンや科学的な人材を育て、経済成長を維持するための都市戦略とは何か
- そして、その都市戦略とは、ビルバオ・グッゲンハイム美術館やせんだいメディアテークのような一つの強烈なプロジェクトなのか、あるいは全く違うものなのか

Two Topics to Choose From

参加者は、「ウォーターフロント」と「都心」の二つのトピックから一つを選択し、二つの実務研修が同時並行で進行します。

Waterfront (講師：シンガポール都市開発庁ディレクター A. ファッサム氏)

- 現時点で、福岡のウォーターフロントは港湾施設に占拠されており、周辺からのアクセスも不便で、有効活用されているとは言えない。しかし、そこから得られる博多湾への眺望は素晴らしく、都心部から非常に近いという恵まれた立地条件も持っている。この場所以上に大きなポテンシャルを持った土地は福岡で見当たらない。
- 現在、コンベンション施設と小規模の商業施設が立地しているが、この土地の持つポテンシャルを十分に生かしているとは言い難い。
- コンベンション機能を強化しようとする議論があるが、それは本当に正しい戦略なのだろうか。もしそうだとすれば、それらはどのように港湾機能と連携し、都心部と接続されるべきなのだろうか。



City Center (講師：B+Bランドスケープデザイン事務所 取締役 S. ヴェルブン氏)

- 現在福岡の都心部は、二つの競合するエリアに分かれている。天神は多彩な商業機能が集積するエリアであり、新幹線の発着駅を中心とする博多エリアからはやや距離が離れている。両者の利点を生かしつつ、二つのエリアをより競争力のあるひとつの都心部へと再編するにはどうすべきだろうか。
- 両エリア共に、特徴のないビルに囲まれ、道路が渋滞し、直感的に理解しにくい交通の接続で満ちているが、その中には、いくつかの素晴らしい街路やポテンシャルのあるリバーフロント、素晴らしい建築の傑作が埋もれている。よりそれらの埋もれた魅力を際立たせ、都心部をさらに魅力ある場とするには、何をしたらいいのだろうか？



Chance to network with other designers from around the world

Outline

- 日時：2012年4月12日～20日
- 宿泊先：鹿島本館（福岡市博多区冷泉町3-11）
※宿泊費は参加費に含まれています。自宅や友人宅での滞在が可能な場合、宿泊料金は不要です。
- 参加費：130,000円（ホテル・食事代込み）、100,000円（ホテルなし）
- 言語：英語（ワークショップ中、講演、グループワーク等は、全て英語で行われます。）
- お問い合わせ先：info@fukuoka-dc.jpn.com（日本語、英語）、info@stadslab.eu（英語のみ）

How to Apply

ホームページ（www.stadslab.eu）での申し込みとなります。期限は3月16日です。申し込み受取り後、審査結果をメールで通知いたします。参加が受け入れられた場合、追って参加費支払い方法を連絡いたします。支払いが確認され次第、ウェルカムパッケージを送付致します。

The 10-day long charrette is bound to be a great experience

Stadslab European Urban Design Laboratory
Fontys Academy of Architecture and Urbanism
P.O. Box 90907
5000 GJ Tilburg Netherlands
T +31 40 7877 877
E: info@stadslab.eu

Fukuoka Directive Council
3F, Tenjin Meijidori Bldg.
1-15-5 Tenjin, Chuo-ku, Fukuoka
JAPAN 810-0001
T +81 92 718 3303
E: info@fukuoka-dc.jpn.com